

# 令和4年度第3回八戸市協働のまちづくり推進委員会議事録

【日 時】 令和4年8月9日（火）午前10時から午前11時50分

【場 所】 市庁本館3階 議会第1委員会室

【出席委員】 加藤宏明委員、工藤恵美子委員、高橋芳久委員、高森えりか委員、中村勉委員、平山佳子委員

【事務局】 市長、総合政策部長、総合政策部次長、市民連携推進課職員4人

## 次第1 開 会

（司会：市民協働グループリーダー）

## 次第2 委嘱状交付

○ 市長より、委員へ委嘱状を交付。

## 次第3 市長あいさつ

それでは、一言御挨拶を申し上げます。

本日は御多忙の中、八戸市協働のまちづくり推進委員会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、皆様には、当委員会の委員をお引き受けいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、平成17年4月の八戸市協働のまちづくり基本条例の施行以来、市民、事業者、行政がそれぞれの役割のもと、対等の立場で協力し合う「協働のまちづくり」に積極的に取り組んでまいりました。

これまで、当委員会の皆様には、協働のまちづくりの推進にあたり、協働の施策に関する検証をはじめ、「市民奨励金制度」や「市民提案制度」での審査や助言をいただくなど、市民のアイデアや発想と行政をつなぐ役割を担っていただいております。

その中で本市の現状といたしましては、地域における課題解決や地域活性化に取り組む活動を支援する「地域の底力」実践プロジェクト促進事業や、八戸圏域連携中枢都市圏の将来を担う高校生の人材育成を図る「高校生地域づくり実践プロジェクト事業」等、多様な主体がまちづくりに関わる事業を展開しております。

さらには、今年度から、地域住民の皆さんと地域の現状や課題、市政の状況などについて相互理解を図るため、「市長との公民館サロン」を順次開催し、市民と共に創る「市民目線のまちづくり」の実現に向けた取組を進めているところであります。

近年の新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動や地域コミュニティの活動が長らく停滞している状況ではありますが、多様化する市民ニーズ、複雑化・高度化する地域課題に対応し、持続可能な地域社会を形成するためには、これまで以上に市民と行政が相互の理解と役割分担のもとで、協働による取組を進めていくことが肝要であり、各分野からお集まりいただいた委員の皆様へ、多岐にわたる協働のまちづくり施策について御意見をいただく当委員会の役割は、非常に重要であると認識しております。

委員の皆様におかれましては、協働のまちづくりのより一層の推進を図るため、それぞれの知識や経験に基づく幅広い見地から、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

## 次第4 委員長・副委員長選出

- 委員長及び副委員長の選出を行い、委員長は加藤委員に、副委員長は横田委員に決定した。
- 自己紹介並びに当委員会についての意見交換及び市民活動や地域活動の経験について、情報交換をした。

### ■委員長

- ・協働のまちづくり推進委員会は、市民と行政との協働のまちづくりを推進する架け橋を担っていると思う。
- ・この委員会の活動は、会議だけでなく、事前審査にあたり相当な下調べをしたりするため、率直なところ大変な任務であるが、それでも続けているのは、やりがいがあるからだと感じている。
- ・委員会のやりがいの1つ目は、熱意ある市民活動団体や地域コミュニティ活動団体の内側から垣間見られること。
- ・2つ目は、審査にあたってかなり下調べが必要だが、それが自己の見識を広げること。
- ・3つ目は、この委員会には既定路線や予定調和がなく、活発な意見交換ができること。
- ・様々な分野からお集まりいただいたみなさんの忌憚のない意見を、委員長としてまとめていきたい。

### ■委員

- ・自分自身が市民活動を始めて四半世紀以上になるが、この委員会に携わるようになって、本当にいろいろな方や団体があって、いろいろな活動をしていると感じる。
- ・このことはすごく良いことだと思っていて、いろいろな方がまちづくりに参加することで、まちがよくなり、それが個人や団体のレベルアップにつながる。そしてまちづくりに反映していくといった好循環になっている。
- ・市民自体が、社会をつくる主役と思えるような委員会活動になっていけばいいと思う。
- ・私は市民活動サポートセンターにも所属しており、そちらの方でもご協力とご指導をお願いしたい。

### ■委員

- ・「市制施行 88 周年の市民提案協働事業」への応募・実施にあたって、この委員会がバックアップしてくださった。
- ・イベントの実施により、地域が盛り上がり、メンバーや現地の人たちとの交流が深まった。コロナ禍で実際に会う機会は減ったが、今でも交流が続いている。
- ・こうした経験から恩返しの思いもあり、委員を受けることとした。
- ・また、地域の底力実践プロジェクトでも、コロナと闘いながら、つい先日、何とか市長に活動報告を済ませることができた。こうした体験からも地域の元気が八戸の元気だと思うので、ちょっとしたことでも地域の活動を応援していきたいと思う。

### ■委員

- ・市民の皆様のエネルギーを感じたり、委員の方から刺激をいただいたりして、私自身は楽しく参加させてもらっている。
- ・委員のみなさんがおっしゃっていたように、人とのつながりを大切に、そうしたつながりをまちづくりに反映できるような活動を、この委員会でやっていけたらと思う。

- ・経営に携わっているので、そうした視点を団体に伝えることで市民活動を応援していきたい。

#### ■委員

- ・私が所属する団体では、花火大会やおまつり広場、市民の方が感じている課題について取り組んでいる。そうした事業にこれまでいくつか携わってきたが、まだまだ分からないことも多い。
- ・微力ながら、委員会のお力になればと思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。

#### ■委員

- ・まちづくりに興味を持ったきっかけは、高校生の頃、中心市街地活性化市民ワークショップに初めて参加したことでした。そこでアドバイザーをされていた先生と出会い、進学してまちづくりを勉強しよう決め、大学院まで勉強することとなった。
- ・大学では市民参加型まちづくりの支援を研究し、弘前市の市民参加型の公募型助成金の委員会の委員を務め、社会人になってからは、東京都世田谷区のまちづくり会社でまちづくりファンドを担当し住民のまちづくり支援に携わった。
- ・その後八戸にUターンし、家業に従事しながら、できる範囲で市民活動を行っている。
- ・活動はしてきたが、委員の皆さんの話を聞きながらもっと勉強していきたい。
- ・また、委員となったことを機に、いろいろな活動の現場を見に行ったり見識を広げたりしながら、委員会として団体を応援していきたい。

## 次第5 議 事

### (1) 協働のまちづくり推進委員会について

- 会議及び議事録の公開について説明し、委員会の承認を得る。
- 事務局より、資料「協働のまちづくり推進委員会について」に沿って、委員会の概要及び活動計画(案)を説明し、活動計画(案)について委員会の承認を得る。

### (2) 協働のまちづくり事業概要について

- 事務局より、資料「協働のまちづくり事業概要」に沿って、協働のまちづくり事業概要を説明した。

### (3) その他

- 特になし

## 次第6 閉 会

(司会：市民協働グループリーダー)